



信金中央金庫

SCB

SHINKIN CENTRAL BANK

# 地域・中小企業研究所 ニュース&トピックス (2017. 1. 25)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048  
URL <http://www.scbri.jp> e-mail : [s1000790@FaceToFace.ne.jp](mailto:s1000790@FaceToFace.ne.jp)

## 信用金庫の建設業向け貸出の動向

森本 龍雄

### ポイント

- 信用金庫の平成27年度末の建設業向け貸出金残高は、前期比0.1%減少の4兆7,880億円となった。貸出金に占める割合（建設業向け貸出比率）は、17年度末の9.2%から7.1%に低下している。
- 27年度末の1先あたり建設業向け貸出金残高は、前期比0.2%減少の2,142万円となり、1先あたり企業向け貸出金残高を1,658万円下回った。この10年間をみると、1先あたり企業向け貸出金残高との乖離は744万円拡大した。
- 地区別の建設業向け貸出金残高は、6地区で前期比増加、5地区で前期比減少した。建設業向け貸出比率は、九州北部などで8%を超える一方で、四国は5%台にとどまる。
- 都道府県別の建設業向け貸出金残高と貸出先数は、17年度末対比で①どちらも減少が34都道府県、②先数のみ増加が8県、③残高のみ増加が2県、④どちらも増加が3県であった。
- 27年度末の信用金庫別の建設業向け貸出比率は、①4%未満が16金庫、②4%以上8%未満が153金庫、③8%以上12%未満が82金庫、④12%以上が14金庫あった。

※本稿は、日本銀行「貸出先別貸出金」より作成している。

### 1. 建設業向け貸出の状況

#### (1) 残高の推移

平成27年度末の建設業向け貸出金残高は、前期比0.1%、61億円減少の4兆7,880億円となり、過去10年来最低水準となった(図表1)。17年度末の残高と比べると、17.7%、1兆348億円の減少となる。貸出金に占める建設業向け貸出の割合（建設業向け貸出比率）も低下傾向にあり、17年度末の9.2%から27年度末には7.1%となった。

#### (2) 1先あたり貸出金残高の推移

27年度末の建設業向け貸出先数は、前期比194先増加の22万3,449先となった。17年度

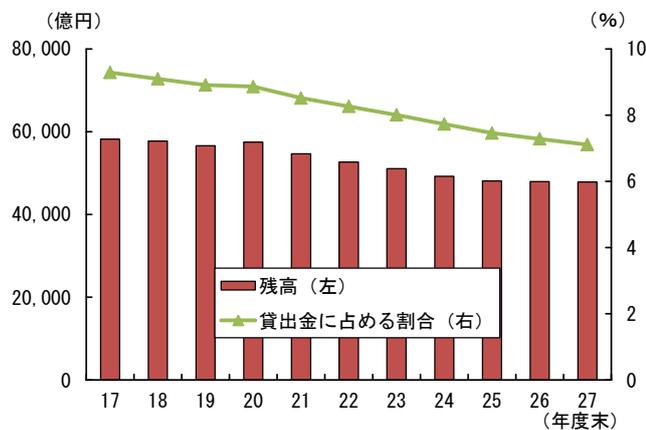
末比では、10.9%、2万7,591先減少である。

27年度末の1先あたり建設業向け貸出金残高は、前期比0.2%減少の2,142万円となり、1先あたり企業向け貸出金残高を1,658万円下回った(図表2)。この10年間、1先あたり建設業向け貸出金残高は、1先あたり企業向け貸出金残高を下回る水準で推移しており、その乖離は744万円拡大した。

### 2. 地区別の状況

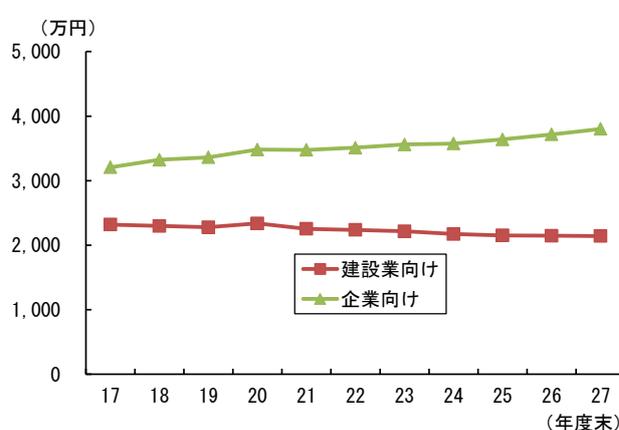
27年度末の地区別の建設業向け貸出金残高は、6地区で前期比増加、5地区で前期比減少した(図表3)。増加額では東海が148億円と

(図表1) 建設業向け貸出金残高の推移



(備考) 本稿では他業態との合併等は考慮していない。

(図表2) 1先あたり貸出金残高の推移



最も高く、中国の30億円が続く。17年度末と比較すると、全11地区で残高が減少しており、なかでも北陸地区は47.3%減と突出した減少率となった。

27年度末の建設業向け貸出比率をみると、九州北部の8.9%が最も高く、東北の8.5%が続く。また、17年度末対比では全11地区で低下した。

### 3. 都道府県別の状況

都道府県別の建設業向け貸出金残高と貸出先数の関係をみた(図表4)。17年度末から27年度末の10年間で、47都道府県中34都道府県で貸出金残高、貸出先数ともに減少している。その他、貸出先数増加・貸出金残高減少が8県、貸出金残高増加・貸出先数減少が2県、どちらも増加が3県あった。

### 4. 信用金庫別の状況

27年度末の建設業向け貸出状況は、前期比増加が125金庫(構成比47.1%)、前期比減少は

140金庫(52.8%)となり、減少金庫が増加金庫を上回った。このうち10%以上の増加が16金庫(6.0%)、10%以上の減少は22金庫(8.3%)となった。

平成27年度の建設業向け貸出比率は、①4%未満が16金庫(構成比6.0%)、②4%以上8%未満が153金庫(57.7%)、8%以上12%未満が82金庫(30.9%)、12%以上が14金庫(5.2%)であった(図表5)

17年度末の割合と比較すると、5%未満が3.4%(10金庫)から15.8%(42金庫)に上昇した一方で、10%以上は45.8%(134金庫)から12.4%(33金庫)となった。

なお、27年度末の建設業向け貸出比率が12%以上の14金庫が属する地区は、東北4金庫、関東3金庫、近畿2金庫、北陸、東海、中国、九州北部、南九州でそれぞれ1金庫となる。

以上

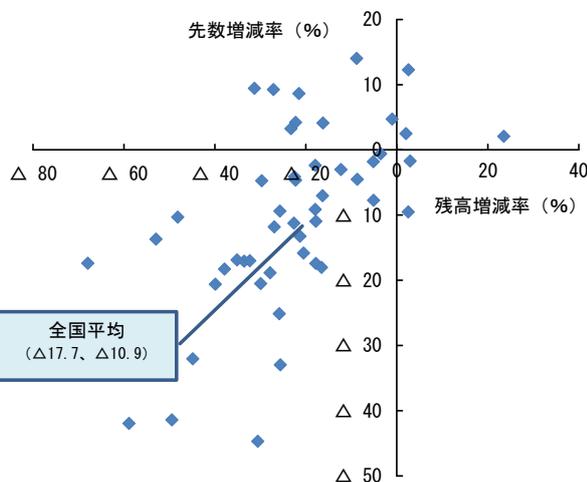
(図表3) 地区別の建設業向け貸出金残高

(単位：億円、%、万円)

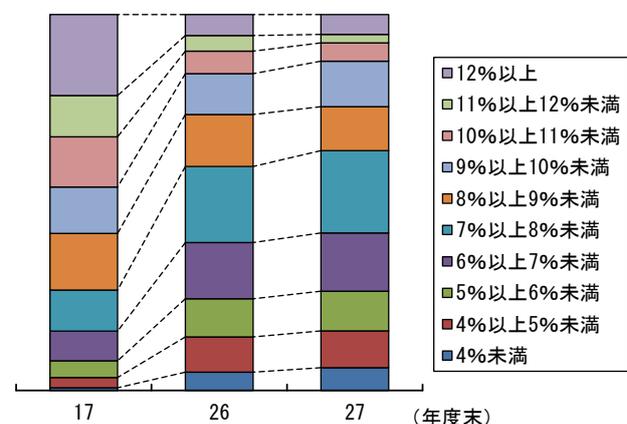
地区	17年度末		26年度末		27年度末		構成比	17年度末比		26年度末比		1先あたり残高
	貸出金に占める割合	貸出金に占める割合	貸出金に占める割合	貸出金に占める割合	増減率	増減額		増減率	増減額			
北海道	2,785	9.0	2,203	7.1	2,155	6.9	4.5	△ 22.6	△ 629	△ 2.1	△ 47	1,982
東北	2,389	10.2	1,972	8.8	1,972	8.5	4.1	△ 17.4	△ 416	0.0	0	2,193
東京	10,045	8.1	8,362	6.8	8,381	6.6	17.5	△ 16.5	△ 1,664	0.2	18	2,065
関東	11,531	9.7	9,599	7.9	9,747	7.9	20.3	△ 15.4	△ 1,784	1.5	148	1,988
北陸	2,275	12.2	1,244	7.6	1,198	7.2	2.5	△ 47.3	△ 1,076	△ 3.6	△ 45	2,107
東海	10,313	8.5	8,631	6.2	8,458	6.0	17.6	△ 17.9	△ 1,854	△ 2.0	△ 173	2,226
近畿	12,378	9.9	10,629	7.6	10,626	7.4	22.1	△ 14.1	△ 1,752	△ 0.0	△ 3	2,582
中国	2,990	10.2	2,346	7.7	2,377	7.7	4.9	△ 20.4	△ 613	1.3	30	1,935
四国	733	6.8	531	5.2	532	5.3	1.1	△ 27.4	△ 201	0.2	1	1,544
九州北部	1,150	9.9	1,094	9.1	1,082	8.9	2.2	△ 5.8	△ 67	△ 1.0	△ 12	1,824
南九州	1,567	10.2	1,281	8.5	1,296	8.4	2.7	△ 17.2	△ 270	1.1	14	1,808
合計	58,229	9.2	47,942	7.2	47,880	7.1	100.0	△ 17.7	△ 10,348	△ 0.1	△ 61	2,142

(備考) 沖縄県は合計に含む。

(図表4) 都道府県別の建設業向け貸出金残高と貸出先数の関係(17年度末→27年度末)



(図表5) 信用金庫別の建設向け貸出比率



本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。